

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23946
事業名	海外拠点運営費					
評価担当課	所属名	経)経済戦略推 産業立地・戦略				
	課長名	納 真悟	担当者名	樋口 航太	電話番号	011-211-2362
施策名	主	世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市内企業の輸出、海外展開の拡大及び海外からの観光客を増加させるため。			
		長期	今後予想される人口減少により国内の経済規模縮小が懸念される中、海外市場をターゲットにビジネス支援、観光客誘致を推進することにより市内企業の経営基盤の強化、雇用の維持・拡大を図るため。			
	取組内容	<p>札幌市が設置する海外事務所および海外食品コーディネート事業の運営</p> <p>1 北京事務所による活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市内企業の中国ビジネス活動支援</li> <li>・中国から札幌への観光客誘致</li> <li>・国際交流</li> </ul> <p>2 食品海外コーディネート事業(台湾及びASEAN地域)</p> <p>・現地企業情報、市場動向等の収集</p>				
実施結果	令和4年3月末をもって北京事務所への職員派遣を終了し、事務所を閉鎖した。また、食品海外コーディネート事業については、市内企業と現地企業との商談を計64件コーディネートした。					
事業実施における工夫点	台湾食品海外コーディネート事業では、オンライン商談会の開催やバイヤー招聘などを通じて商談機会を創出した。					
対象者	市内企業	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	・66自治体が13カ国、36都市に210海外拠点(独自事務所、機関等派遣、業務委託)を設置。(令和2年9月時点自治体国際化協会調べ)					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	42,494	44,000	24,752	46,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.7	0.7	0.7	0.7	
人件費	5,040	5,040	5,040	5,040	
計(事業費+人件費)	47,534	49,040	29,792	51,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中経済協会負担金:16,556千円</li> <li>・台湾食品海外コーディネート事業(さっぽろ産業振興財団に対する補助金):4,500千円</li> <li>・ASEAN地域食品海外コーディネート事業(株)フォーバル、さっぽろ産業振興財団への委託料):3,965千円</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外展開支援専門家によるコンサルティング業務:9,000千円</li> <li>・海外展開支援拠点設置運營業務:26,000千円</li> <li>・台湾食品海外コーディネート事業:5,000千円</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	北京事務所による現地情報交換件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	-	270	42	-
活動指標2	指標名	企業から食品海外コーディネーターへの相談件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	61	73	222	113
成果指標1	指標名	事業を通じて成立した現地企業との商談数(累計)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	60	75	87	60
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>北京事務所については閉鎖により見直し済。</li> <li>食品海外コーディネート事業については相応の商談創出、支援件数があり計画達成。</li> </ul>		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外事務所について、他都市も大きく拠点数を減らしており閉鎖は妥当。</li> <li>食品海外コーディネート事業については、食関連企業の海外輸出に対し大きく貢献しているものと判断。</li> </ul>		
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>北京事務所については閉鎖により見直し済。</li> <li>食品海外コーディネート事業については産振財団担い手となり市内食関連企業の輸出拡大に貢献できており適切な手法といえる。</li> </ul>		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	食品海外コーディネート事業については、市内企業のリピーターが多く、ニーズに合っているものと判断できる。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	市内企業に対して、食関連に留まらない海外展開支援を実施する。			
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	北京事務所運営に充当していた予算を活用し、民間委託による海外展開支援事業を構築した。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	市内企業の海外展開支援のあり方として時流に即した制度を提供できている。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 分野・地域を限定しない海外展開支援事業を構築した。		
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 市内全体の海外ビジネスへの取組み意欲の醸成のためプロモーション等を実施。また、海外展開の成功可能性を可能な限り高めるため支援メニューを拡充する予定。		見直し効果額 0 千円